学校番号	３１９

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	文学国語	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	文学国語（筑摩書房）						
副教材等	プレミアムカラー　国語便覧（数研出版） 現代評論　キーワード講義　（三省堂） 四訂版　入試頻出漢字＋現代文重要語　TOP2500　（いいずな出版） 四訂版　プログレス　現代文総演習　完成編（いいずな出版） 四訂版　プログレス　現代文総演習　発展編（いいずな出版） 完成　日本文学史ノート　三訂増補版（啓隆社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

文学国語では主に近代以降の小説や詩、短歌などの文学作品を教材として扱います。授業では作品の読解だけでなく授業で扱った教材に関連する「文化」・「メディア」・「言語」・「芸術」などのテーマを学習します。また文章を正確に理解する能力を高めるとともに、論理的な思考力、豊かな想像力を身につけることを目標とします。そのためには言語感覚を磨き、語彙力を養成することが必要です。漢字の書き取り・読み取りを意識的に行うとともに、意味がわからない言葉と出会ったときは、積極的に辞書を引くことを心がけましょう。また、文章の理解に基づいた話し合いも行います。

2　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

(2) 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をも深め、言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。

学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
前期	小説から情景や心情を読み取り、表現や展開についての自分の考えをまとめる。 ［教材］「山月記」	a：作品を通して、 情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、自ら文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[書]：「山月記」を参考に、文章の構成や展開、表現の仕方などについて、伝えたいことや感じてもらいたいことが伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりしている。 c：言葉を通して積極的に他者や社会に関わり、粘り強く言語活動を行う中で、ものの見方、感じ方、考え方を深め、自らの学習を調整しようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	レポート
	現実を多面的に捉える想像力を身につける ［教材］「ラムネ史のこと」	a：読解を通して、言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 b[読]：構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性や背後に隠された主張について考察している。 c：筆者の経験から得た主張とそれを支える根拠を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとしている。作者の他の作品にもふれようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	小説から情景や心情を読み取る ［教材］「神様」「神様2011」	a：筆者の特有の表現に込められた心情について理解している。 b[読]：他の作品と比較するなどして、文体の特徴や効果について考察している。 c：進んで作品内容を解釈し、学習課題に沿って文章にまとめようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	身近な題材を取り上げ、問題を発見する ［教材］「実体の美と状況の美」	a：読解を通して、文学的な文章やそれに関する文章の種類（随想・評論）や特徴などについて理解を深めている b[話/聞]：作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。 c：言葉を通して積極的に他者や社会に関わり、粘り強く言語活動を行う中で、ものの見方、感じ方、考え方を深め、自らの学習を調整しようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 発表資料
	身近な題材を取り上げ、作者の視点から新たな問題を発見する ［教材］「バイリンガリズムの政治学」	a：読解を通じて、標識から読み取ることのできる国際的な問題について問い直しをすることができている。 b[読]：構成や展開、表現の仕方を踏まえ、現実世界で起きている問題について考察することができている。 c：筆者の経験から得た主張とそれを支える根拠を読み、類似する他の問題についても考察を深めようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート グループ内発表 振り返りシート

	柔軟に思考するために新鮮な着眼点を探る ［教材］「文学の仕事」	a：読解を通して、文学の意義を理解し、自分にとっての文学の意義について問い直しをすることができている。 b[読]：文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 c：筆者の表現を積極的に読み解き、その主張を理解したうえで、学習課題に沿って自分の意見を具体的に述べようとしている。	定期考査 小テスト	ノート 定期考査	ノート
	小説が開拓した世界観を追体験する ［教材］「藤野先生」	a：作者が藤野先生と出会って得たものを正確に捉え、出会いがその後の人生にどのような影響を与えたのかを捉えることがdきている。 b[書]：迅と藤野先生との関係を描いた太宰治の作品「惜別」と、この作品を読み比べ、感想を発表する。 c：二つの文章を読み解き、積極的に自分の考えを述べようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	レポート
	柔軟に思考するために新鮮な着眼点を探る ［教材］「化物の進化」	a：作品におけるにおける文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し、自ら使っている。 b[読]：作品の内容や解釈を踏まえ、作者の比喩表現を理解し、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。 c：筆者の表現を積極的に読み解き、その主張を理解したうえで、学習課題に沿って自分の意見を具体的に述べようとしている。	定期考査 小テスト	ノート 定期考査	ノート
後期	「自己」を追い求める近代の特色について考える ［教材］「こころ」	a：作品に関連のある事項について調べ、その成果を文章にまとめたり発表したりする方法を学ぶ。 b[読]：「読むこと」において、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。 c：作品の主題を粘り強く考察し、これまでの学習を生かして話し合おうとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート グループ内発表 振り返りシート
	世界の捉え方を明らかにする ［教材］「未来をつくつる言葉」	a：コミュニケーションと翻訳についての筆者の考えを理解し、自分の捉え方の違いを認識している。 b[話/聞]：「こころ」の先生とKの「わかりあえなさ」や「神様」での「わかりあえなさ」について考察し、他者と意見を交流することができる。 c：積極的に意見を発表し、グループで考えを深めることができている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート グループ内発表 振り返りシート
	選び抜かれたことばの、洗練されたリズムを味わう ［教材］「永訣の朝」	a： 内容や構成、展開、場面設定や描写の仕方、表現の特色などを的確に捉え、内容を解釈する方法を学ぶとともに、多様な解釈をすることができている。 b[読]：作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めている。 c：宮澤賢治の妹への心情や兄妹のつながりを粘り強く考察し、これまでの学習を生かして話し合おうとしている。	定期考査 小テスト	ノート 定期考査	ノート

	詩や俳句から作者の思いを受け止める ［教材］「旅情」「N 森林公園の冬」「俳句」「サーカス」	a：詩や俳句の読解を通して、言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 b[書]:「永訣の朝」を踏まえたうえで、詩や俳句の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深め、それを自分の言葉で表現できている。 c：よりよい作品を作るため、推敲を重ね、丁寧に言葉を選ぼうという姿勢が現れている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	レポート
	文学作品を通して未来への思考を深める ［教材］「寛容は自ら守るために不寛容に対して不寛容になるべきか」	a：寛容と不寛容の定義を理解し、対立する点について理解を深めることができている。 b[読]:読解を通して、作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。 c:寛容と不寛容の関係についてグループで話し合い、自分たちの生活で発生する対立について積極的に考察ができている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート グループ内発表 振り返りシート
	異質な価値観のぶつかり合いを読み解く ［教材］「「舞姫」	a：語りの時制や文体・時代背景なども意識しながら内容を理解することができている。 b[読]：夏目漱石「こころ」と読み比べて、「明治」という時代の特徴について考察することができている。 c:主体的に作品を読み取り、読み取った内容を積極的にグループで発言している。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート グループ内発表 振り返りシート

４　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準ｂ[　]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　５　）時間

・書くこと　…　（　２０　）時間

・読むこと　…　（　４５　）時間